

気運醸成・レガシー 実現に向けた取組み

主要な気運醸成の取組み

アメリカ合衆国との交流、ホストタウン・共生社会ホストタウン

エールを送ろう

おもてなし・交流・参加プロジェクト

東京2020大会を契機とし、世田谷区の将来に多くのレガシーを残すため、大会に向けた気運醸成の取組みや、アメリカ合衆国との交流、ホストタウン・共生社会ホストタウン事業、また区民を主体としたおもてなし・交流・参加プロジェクトなど、様々な分野から「オール世田谷」で取組みを進めてきました。

主要な気運醸成の取組み

●東京2020大会に向けたカウントダウンイベント●

東京2020大会期間中に世田谷区内で開催される馬術競技やアメリカ合衆国選手団キャンプの周知をするとともに、区民の東京2020大会への参加意識を向上させ、貴重な経験を後世に継承することを目的に、大会開催までの節目ごとに、大会に向けた気運を盛り上げるイベントを実施しました。

2017年

キックオフイベント

アテネ2004オリンピック女子バレーボール日本代表の大山加奈さんによる基調講演や、リオ2016大会に出場した世田谷区ゆかりのオリンピック・パラリンピアンによるトークステージ「オリンピック・パラリンピックの魅力再発見」を開催しました。

●実施日

2017年2月8日(水曜日)

●会場

成城ホール



大山加奈さんの基調講演



トークステージの様子

フラッグツアー

全国を巡回しているオリンピック・パラリンピックフラッグが世田谷区を訪れ、フラッグツアーアンバサダーでロンドン2012・リオ2016オリンピック新体操団体日本代表の畠山愛理さんを招き、歓迎セレモニーとお披露目パレード「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー in SETAGAYA」を開催しました。

●実施日

2017年4月23日(日曜日)

●会場

三軒茶屋ふれあい広場、茶沢通り



歓迎セレモニー



お披露目パレード

1000日前イベント

世田谷区ゆかりのオリンピックによる、東京2020大会開幕までのカウントダウンカレンダーお披露目式やかっこ教室、車いすバスケットボールやボッチャといったパラスポーツの体験を、世田谷区制85周年事業と合わせて、実施しました。

●実施日

2017年10月1日(日曜日)

●会場

世田谷区民会館、区役所中庭



カウントダウンカレンダーお披露目式



かっこ教室

2018年

900日前イベント

平昌2018冬季大会のパブリックビューイングや馬術競技にちなんだポニーふれあいやホースシューズなどを実施するとともに、東京都パラリンピック体験プログラムNO LIMITS CHALLENGEによるパラ馬術の高嶋活土選手との交流や競技体験と合わせ、「東京2020大会900日前イベント in SETAGAYA」を開催しました。

●実施日

2018年2月11日(日曜日)、
12日(月曜日)

●会場

羽根木公園球戯広場



高嶋活土選手のトークステージ



パブリックビューイング

800日前イベント

メキシコ1968・ミュンヘン1972・モントリオール1976のオリンピック3大会に男子体操競技で出場し、合計9個のメダルを獲得した塚原光男さんによる講演「果てしなき挑戦～金メダルへの道」と、東京1964大会の記録映画「東京オリンピック」の上映会を開催しました。

●実施日

2018年5月16日(水曜日)

●会場

烏山区民会館ホール



塚原光男さんの講演

オリンピック2年前イベント

ロンドン2012オリンピック女子体操日本代表の田中理恵さんなど、世田谷区ゆかりのオリンピックやアスリートによるトークステージやBMXパフォーマンスを披露し、会場では夏祭りをテーマに、親子で東京2020大会を楽しみながら体験できる「東京2020オリンピック2年前イベント in SETAGAYA ～夏まつり2018～」を開催しました。

●実施日

2018年7月28日(土曜日)
※台風の影響で途中中止

●会場

二子玉川ライズ ガレリア 大会マスコットが迎える会場入口 夏まつりをテーマにしたブース オリンピアントークステージ



パラリンピック2年前イベント

北京2008・ロンドン2012オリンピック新体操団体日本代表の田中琴乃さんやパラリンピアンによるトークステージや、ゲストと交流しながら体験できる車いすバスケットボールや競技用義足などのパラスポーツ体験コーナーを設置した「東京2020パラリンピックに向けた2年前イベント in SETAGAYA」を開催しました。

●実施日

2018年8月26日(日曜日)

●会場

三軒茶屋ふれあい広場



田中琴乃さんトークステージ



車いすバスケットボール体験

1年前イベント

馬術競技開催地にちなんだVR乗馬体験やポニーふれあい、ホストタウン・共生社会ホストタウンなどの区の間取りをPRするとともに、馬術競技を始めとするトップアスリートやオリンピックによるトークステージ、公式マスコット「ミライトワ・ソメイティ」と踊る東京五輪音頭-2020-など、「オール世田谷」のイベント「東京2020オリンピック・パラリンピック1年前イベント in SETAGAYA～夏まつり2019～」を開催しました。

●実施日 2019年7月27日(土曜日)、28日(日曜日) ●会場 二子玉川ライズ ガレリア



ダンスラボラトリーステージ



アメリカ合衆国応援ステージ



東京五輪音頭-2020-



馬術スペシャルトーク



氷柱で装飾した会場入口



VR乗馬体験ブース

2020年

200日前イベント

VR車いすレーサーやVR馬術の体験や、アテネ2004パラリンピック車いす陸上競技銅メダリストの副島正純選手によるトークステージ、1964年東京で行われたパラリンピックの記録映画上映など「東京2020大会200日前イベント VR de パラスポーツ」を開催しました。

●実施日 2020年2月1日(土曜日) ●会場 北沢タウンホール



VRレーサー体験



VRで競技体験



副島正純選手トークステージ

600日前イベント

馬事公苑で開催される馬術競技の魅力を広く知ってもらうため、北京2008・ロンドン2012・リオ2016・東京2020オリンピック馬術競技の総合馬術日本代表の大岩義明選手や、パラ馬術の高嶋活士選手、日本馬術連盟の馬術スペシャルアンバサダーの櫻坂46(現:櫻坂46)菅井友香さんによるトークステージや、VR馬術体験やポニーふれあいなどが体験できる「うまを知ろう!馬術を知ろう!~東京2020大会に向けた600日前イベント~」を開催しました。

●実施日 2018年12月2日(日曜日)
●会場 三軒茶屋ふれあい広場



ポニーふれあい



ゲストの皆さん

2019年

500日前イベント①

パラスポーツの普及のため、アトランタ1996・シドニー2000・アテネ2004パラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表の三宅克己さんやオリンピック、タレントと一緒に車いすバスケットボール、車いすリレー、ゴールボール、ボッチャの4競技をチーム対抗で体験する「東京2020大会500日前イベント パラスポーツ大運動会」を開催しました。

●実施日 2019年3月10日(日曜日)
●会場 大蔵総合運動場体育館



開会式



ボッチャ競技



ゲストの皆さん

500日前イベント②

ゴールデンウィークのショッピングセンターの一角にて、ロンドン2012・リオ2016オリンピック新体操団体日本代表の畠山愛理さんによるトークステージ「500Days to Go!」を実施しました。

●実施日 2019年4月27日(土曜日)
●会場 玉川高島屋



畠山愛理さんのトークステージ

400日前イベント

東京1964大会の記録映画「東京オリンピック」上映会と、会場ロビーで東京1964大会の写真展を実施しました。

●実施日 2019年6月20日(木曜日)
●会場 成城ホール



東京1964大会写真展



上映会の様子

●東京2020大会PRブース●

東京2020大会期間中に世田谷区内で開催される馬術競技やアメリカ合衆国選手団キャンプの周知をするとともに、大会に向けた気運醸成を図るため、区内で実施されるイベントにブースを出展し、馬術啓発VTRの放送やパネルの掲出、アンケート回答者に馬術パンフレットやピンバッジの配布を行いました。

●実施日 2016年より東京2020大会開催まで実施 ●会場 区内各所



PRブースの様子



馬術啓発ピンバッジ



馬術紹介パンフレット「馬術のすすめ」

●東京五輪音頭-2020-の普及啓発●

東京2020大会期間中に、各所で老若男女・車いすの方も楽しく踊ることができるような振付けとなっている「東京五輪音頭-2020-」を普及啓発するため、区内団体にCDや振付けDVDを貸出しました。

2018年のせたがやふるさと区民まつり会場とたまがわ花火大会会場では、著名人やオリンピックを招き、来場者に振付けを教えながら一緒に踊りました。

ふるさと区民祭り

●実施日 2018年8月5日(日曜日)
●会場 世田谷区役所中庭



ふるさと区民まつりステージ



たまがわ花火大会ステージ

たまがわ花火大会

●実施日 2018年10月13日(土曜日)
●会場 多摩川河川敷

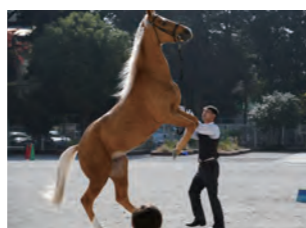
●馬!ふれあい出張授業●

世田谷区内で開催される馬術競技を児童に知ってもらうきっかけ作りとして、JRA日本中央競馬会の協力のもと、「馬!ふれあい出張授業」を平成29年度(2017年)より区立小学校低学年クラスを対象に実施し、令和3年度(2021年)まで計18校で実施しました。

児童達は、馬の授業で馬について学んだ後、校庭に移動し、馬の実演の見学や馬のふれあいを行いました。



馬の授業の様子



ホースショー



馬とのふれあい

●まちなか観光馬車●

馬術競技PRと区民に馬と親しんでもらうことを目的に馬車を運行しました。地元商店街等の協力で馬事公苑最寄り5駅周辺の特徴を活かした魅力的なコースが実現。1,313件4,365人の応募で当選倍率は14.6倍と大人気でした。日頃親しんだまちを馬車がゆったり走る光景に子ども達は大喜びでした。

●実施日(会場) 2019年10月5日(上町)、20日(用賀)、11月16日(桜新町)、17日(経堂)、2020年3月29日(千歳船橋※) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止



●シクロポリタン事業●

東京2020大会が持続可能性に配慮する運営に取り組むことから、排気ガスを排出せず環境負荷の少ない、フランスで誕生した三輪自転車タクシー「シクロポリタン」の乗車体験を行いました。

車体には、アメリカ合衆国ホストタウンと東京2020大会馬術競技PRのラッピングを施し、のんびり走る姿に乗客だけでなく道行く人にも笑顔があふれました。

●実施日(会場) 2019年8月24日、25日(馬事公苑周辺)、2019年10月26日(区役所周辺)



●せたがや和の音楽祭~2020カウントダウンコンサート~●

東京2020大会に向けて、世田谷から世界に向けて和の音楽の魅力を発信するため、世田谷区の子供たちが参加する『Setagaya 太鼓塾』と世界的和太鼓奏者である林英哲さんが共演し、迫力ある演奏を披露しました。

●実施日 2019年8月12日(月曜日・祝日) ●会場 世田谷区民会館



Setagaya 太鼓塾



チラシ

また、「せたがやキックオフコンサート~和のこころ Ring of Piece~」として、世田谷ゆかりのアーティスト達による様々なジャンルの音楽が融合し、海外の方々へ日本の文化・芸術の魅力を伝える音楽の祭典を東京2020大会直前に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

●うままちプラス●

馬事公苑やお隣の東京農業大学にはたくさんの馬たちが住んでいます。その馬たちとは馬事公苑で会えるでしょう。でも、時には、馬事公苑の近くの道路を馬が歩いていることも。。

世田谷区では、東京2020大会が開催されるこのまちを「うまのいるまち=うままち」と名付け、まちの魅力向上のために様々な取り組みを進めてきました。

その取り組みの一つとして開催した参加型イベント「うままちプラス」は、将来、この地域への愛着をもつ心が育まれ、これまで先人たちが築いてきた歴史や活動を通して守り育んできた資源が、今後のこの界わいに暮らす「次代」に受け継がれるとともに、新たな魅力をつくりだしていくことを願い開催したものです。

●実施日 2019年8月24日(土曜日)、
25日(日曜日)

●会場 けやき広場



うまチェス大会



がやリンペイントワークショップ



クルマにお絵かきコーナー



ポニーとのふれあい



そとあそび



物販ブース

●馬事市●

世田谷区では、地域のNPOとの協働で、大学、民間企業、地域の個店、団体など様々な方の参加を募りながら「馬事公苑界わいコミュニティデザインプロジェクト(愛称bajico)」の活動を展開しています。

bajicoは、「人と人とのつながり 心の豊かさの再確認」をテーマに、けやき広場を中心に、調査や発信、イベントやワークショップなど(馬事市=Baji∞ichi)を開きながら、地域コミュニティを高める活動をしており、東京2020大会後も引き続き取り組みます。

●実施日 2019年11月9日(土曜日)

●会場 けやき広場



TSUTAYA 中古 & 雑貨市



手作り物品販売



粘土教室 アトリエ nonn



食品販売 世田谷クミン



遊び場ワークショップ



秋の夜の上映会 映画の上映

●馬事公苑界わいまちの魅力向上構想 寄附金募集 蹄鉄サイン●

馬事公苑が東京2020大会の馬術競技会場となることを受け、世田谷区では、「馬事公苑界わいまちの魅力向上構想」を策定しました。この構想は、大会前、期間中、大会後と3つのステップに分け、段階ごとの魅力づくりを進めるものです。この魅力づくりを「うままちプロジェクト」と称し、関係所管の横連携で取り組みました。

プロジェクトには、電線類の地中化、サイン整備、視覚障害者誘導用ブロックの改修など、39の取り組みが記載されています。

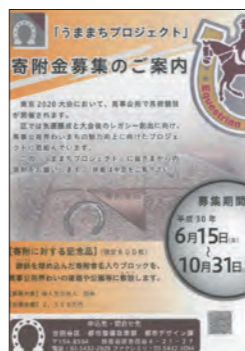
このまちづくりを区民とともに進めようと、プロジェクトに賛同する方からの寄附金募集を平成30年度に実施しました。寄附者は655名、寄附金額の合計は、21,359,295円にのぼりました。いただいた寄附の記念として、実物の蹄鉄を埋め込んだ寄附者名入り平板ブロックを製作し、馬事公苑最寄り5駅から馬事公苑までの5ルートの道路・公園に敷設しました。レガシーを残しつつ、まちづくりへの参加にもつながるという取り組みです。寄附された方からは、「レガシーと一緒に作りましょう」、「一緒に盛り上げていきましょう」、「住み続けたいまちづくりに期待しています」といった、応援メッセージをいただきました。こうした多くの方々からの寄附金や応援メッセージは、我々が行うまちづくりに対する期待と共感が得られた証であり、同時に、大会以降のまちづくりを更に深めていく必要があると再認識するものでした。



馬事公苑界わいまちの
魅力向上構想



案内サイン
馬事公苑通り



寄附金募集チラシ



寄附者名入り平板ブロック



寄附者名入り平板ブロック
馬事公苑前緑地

●馬事公苑界わいウォーキングコース●

世田谷区では、東京2020大会の会場となる馬事公苑界わいの街並みを、大会終了後も訪れたいよう、最寄りとなる5駅から馬事公苑までの道のりをウォーキングコースとして設定し、日本語版と英語版のマップを作成しました。

マップには、ウォーキングコースのほか、「うままちプラス」に込められた地域への愛着が育まれ、新たなまちの魅力を発見していただくために、馬事公苑界わいの魅力向上に向けた取り組みや、うままちクイズなどを紹介しています。

馬事公苑を起点とした5コースは30分弱の手軽なコースとなっており、「ちょっと歩いてみたら自然に運動していた」を実現できるコースとして親しまれることを願い設定したものです。

●東京2020 SETAGAYA SPORTSフェスティバル●

東京2020大会に向けた気運を、区民により一層高めてもらうため、3×3バスケットボールやサーフィンといった東京2020大会で新たに追加された競技をはじめ、アーティスティックスイミングやカヌースプリントなど、普段馴染みのない競技やパラスポーツなど様々なスポーツのエキシビジョンや体験会を実施しました。



オリンピック・パラリンピックのメダリストを招き、一流のプレーを披露するとともに、参加者はメダリスト等と交流しながら競技を体験できました。

- 実施日 2019年7月28日(日曜日)、
9月1日(日曜日)
- 会場 大蔵総合運動場温水プール・体育館



●ボッチャ世田谷カップ●

共生社会ホストタウン推進事業として、世代や国籍、障害の有無を問わず交流を深め、大会に向けた気運醸成を図るため、パラリンピック正式種目の1つである「ボッチャ」の交流大会を開催しました。区内の小・中学校、障害者福祉施設、民間企業などのチームのほか、インターナショナルチームや公募チーム、さらにアスリートチームなど様々なチームが参加し、ボッチャを通じてパラスポーツへの関心を深める大会となりました。2021年以降も、東京2020大会のレガシーとして、引き続き開催していきます。



- 実施日 第1回 2019年8月24日(土曜日)
第2回 2020年11月28日(土曜日)
第3回 2021年11月27日(土曜日)
- 会場 大蔵総合運動場体育館



ウォーキングコース

ウォーキングマップ

マップ中面

●デジタルサイネージの設置●

東京2020大会を契機とした商店街や地域の振興を図るため、行政情報と商店街の情報を多言語(日本語、英語、韓国語、中国語)で周知するデジタルサイネージを、馬事公苑周辺の3駅(桜新町駅、経堂駅、千歳船橋駅)に、地元商店街が設置しました。

【情報内容】

- ・商店街情報(店舗紹介、検索機能、商店街からのお知らせ)
- ・広域地図(馬事公苑までのルートなど)
- ・バス、タクシー乗り場案内
- ・休憩、緊急避難場所案内
- ・警察、消防、行政情報



桜新町商店街振興組合設置

千歳船橋商店街振興組合設置

経堂農大通り商店街振興組合設置

● パラスポーツ体験会 ●

障害のある人もない人も、また子どもから大人までパラスポーツを知り、学び、体験する機会として、パラスポーツ体験会を開催しました。車いすバスケットボールやシッティングバレーボール、ボッチャといったパラリンピック競技を体験しました。

●実施日 第1回2020年2月15日(土曜日)

●会場 希望丘地域体育館

第2回を2021年2月13日(土曜日)に、日本体育大学陸上競技部のパラアスリートのご協力で、競技用義足や車いすレーサー、ボッチャの体験を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。



● 世田谷246スポーツフェスティバル ●

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった第15回世田谷246ハーフマラソンの代替イベントとして、アプリケーションのGPS機能により距離・タイムを計測する「世田谷246オンラインハーフマラソン」と、アメリカ合衆国陸上選手の動画と日本のオリンピック等トップアスリートによるランニング教室や、ラグビー選手に教わるラグビー体験などの「スポーツ体験会」を、3密の回避、競技中以外のマスク着用といった感染症対策を徹底して開催しました。また、イベントの様子をインターネット中継で配信しました。

●実施日 2020年11月8日(日曜日)

●会場 駒沢オリンピック公園陸上競技場・第二球技場



動画でのアメリカ合衆国陸上選手のランニングクリニック



ランニングクリニック



ラグビー トライ体験

● 世田谷区ゆかりの選手からのメッセージ動画配信 ●

世田谷区ゆかりの選手とは、区内在住、区出身、区内にある高校、大学等の在学生や卒業生、所属の本拠が区内にある選手のことです。

世田谷区ゆかりの選手を区民に身近に感じてもらうことで、東京2020大会の気運醸成につなげるため、世田谷区ゆかりの選手からのメッセージ動画を世田谷区公式チャンネル(YouTube)で2020年から配信しました。

動画では、練習風景や簡単なトレーニングの紹介、日常の過ごし方、競技にかける思い、区民へのメッセージを配信しました。



ケンブリッジ 飛鳥選手



辻 沙絵選手



入江 聖奈選手



兔澤 朋美選手



北口 榛花選手



新谷 仁美選手



吉越 奏詞選手



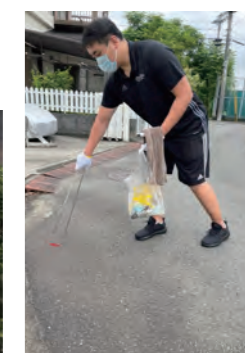
中村 匠吾選手

● せたがやクリーンアップ作戦 ●

世田谷区では、プラスチックごみによる海洋汚染を減らすとともに、世田谷に来られる方を「きれいなまち」でお迎えするため、「せたがやクリーンアップ作戦」として区内における一斉清掃活動を実施しました。2021年7月10日から18日の期間中、60団体、約940人もの方々が区内の道路、公園、河川敷などの清掃に参加しました。大会が無観客での開催となり来訪者のお迎えはできませんでしたが、多くの皆様のご参加により、大会開催にあたってまちをきれいにすることができました。



町会・自治会



地元ラグビーチームの協力

●まちなぎ飾●

リオ大会記録シルエットシール

オリンピックを身近に感じ、トップアスリートの記録を体感してもらうため、リオ2016大会の各種競技の優勝記録を区施設に設置しました。



オリジナルフラッグ、横断幕・懸垂幕、カウントダウンボード

世田谷区内で開催する馬術競技と、アメリカ合衆国キャンプをPRするため、オリジナルフラッグや横断幕等を町中に装飾しました。

また、区役所や総合支所内にカウントダウンカレンダーを設置し、大会までの日数をカウントダウンし、大会の気運や期待を盛り上げました。



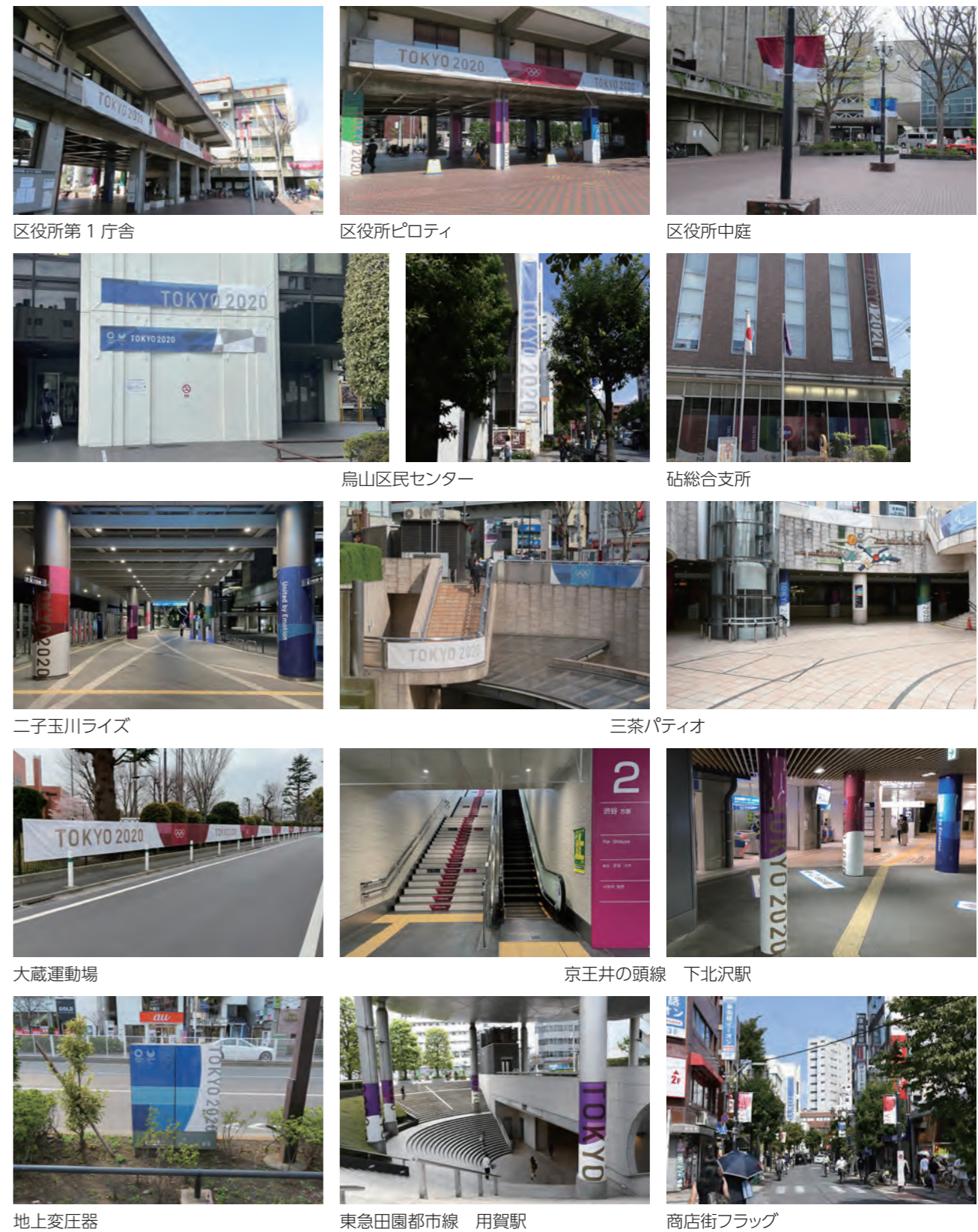
大会マスコットのモザイクアート制作 (東京2020大会300日前の取組み)

東京2020大会開催300日前の取組みとして、『みんなで描こう! Go for Tokyo2020』と題し、区立小学校の3・4年生の児童が描いた東京2020大会の絵約12,500点を組み合わせて、一つの大きな大会マスコットのモザイクアートを制作し、イベントでの展示や区内2か所に常設しました。



シティドレッシング

東京2020大会に向けた盛り上げりを浸透させていくため、区施設や主要駅、馬術競技会場の馬事公苑から最寄りの5駅(小田急線経堂駅・千歳船橋駅、東急線桜新町駅・用賀駅・上町駅)までの道のりにシティドレッシング(都市装飾)を施しました。



アメリカ合衆国との交流、ホスト

●アメリカ合衆国とのパートナーシップのあゆみ●

2013年9月、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることが決定しました。これを受け、2015年4月から世田谷区は海外選手のキャンプ誘致に取組みました。東京都及び日本オリンピック委員会の協力により、アメリカ合衆国オリンピック・パラリンピック委員会(USOPC)が視察のため世田谷区を訪れました。検討の結果、公園内にスポーツ施設がまとまっていて、緑が多く選手のリラクゼーション効果が期待できる等の理由から、アメリカ合衆国選手が大会期間中にトレーニングを行うキャンプ会場として利用することを希望し、同年に覚書を締結し、2017年には正式にキャンプ利用の契約を取り交わしました。



USOPC 視察の様子



覚書締結式



正式契約締結式

●ホストタウン・共生社会ホストタウン登録●

世田谷区は、大蔵総合運動場がアメリカ合衆国選手団のキャンプ地となったことをきっかけに、2016年6月 アメリカ合衆国のホストタウンに登録されました。

また、パラリンピアンとの交流やユニバーサルデザインのまちづくり、心のバリアフリーに取り組む自治体として、2017年12月 共生社会ホストタウンに都内で初めて登録されました。

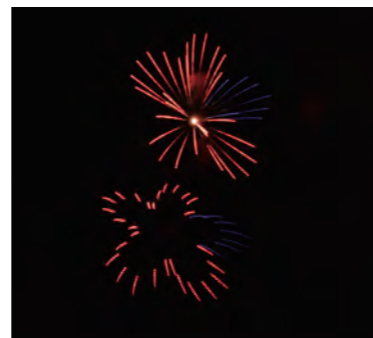
さらに、先進的・先駆的な取り組みが評価され、2019年10月 先導的共生社会ホストタウンに認定されました。

アメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンとして、アメリカ合衆国との交流などをきっかけに、一人ひとりの個性が尊重され、障害のある人もない人も暮らしやすい「共生のまち世田谷」の実現を目指しています。

◆ロゴマーク・キャッチコピー

世田谷区がアメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンであることを多くの方に知ってもらうため、デザインを公募し、区立小・中学校の児童・生徒による投票により、世田谷区のホストタウンロゴマークを決定しました。

また、共生社会ホストタウンのキャッチコピーを、柔軟な発想を持つ若い世代を対象に公募し、「一緒にできると楽しいね。」に決定しました。



ホストタウンロゴの花火
(第41回 世田谷区たまがわ花火大会)

タウン・共生社会ホストタウン

●アメリカ合衆国との交流事業●

世田谷区はアメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンに登録されたことを契機に、USOPCやアメリカ合衆国大使館を通じて様々な交流事業を実施してきました。

アメリカ合衆国選手とのスポーツ交流イベント①

アメリカ合衆国大使館の協力のもと、元メジャーリーガーの岩村明憲さんや女子ソフトボールアメリカ合衆国代表のナターシャ・ワトリー選手、日本代表の山根佐有里選手、元アメリカンフットボール選手のケビン・ジャクソンさんをお招きし、中学生等を対象としたスポーツ交流事業を実施しました。第一部では各選手によるデモンストレーションやスポーツクリニックなどを行い、第二部では講演会を開催しました。

●実施日 2017年1月31日(火曜日)

●会場 世田谷中学校



アメリカ合衆国選手とのスポーツ交流イベント②

アメリカ合衆国大使館と世田谷区によるスポーツ交流イベントを実施しました。当日は、元ヤクルトスワローズの岩村明憲さん、川崎憲次郎さん、当時日本ハムファイターズのリード選手、マーティン選手、女子ソフトボールトヨタ自動車所属のアボット選手、ワトリー選手、峰選手の7名が指導者となり、約100名の中高生に打撃や投球の指導を行いました。

また、当日はサプライズゲストとして、来日中であったペンズ副大統領(当時)が会場に訪れ、中高生と交流をしました。

●実施日 2017年4月19日(水曜日)

●会場 大蔵総合運動場野球場



ケイティ・レデッキー選手による水泳教室

アメリカ合衆国大使館と世田谷区の主催事業として、リオ2016オリンピックの競泳女子自由形とリレーで4冠を達成したアメリカ合衆国のケイティ・レデッキー選手と、ライフセービング世界大会銀メダリストの飯沼誠司さんによる水泳教室を開催しました。教室では泳ぎ方の指導のほか、最後にはレデッキー選手も交えてのレースが行われ、レデッキー選手は生徒達の前で圧巻の泳ぎを披露しました。

●実施日 2018年8月14日(火曜日)

●会場 大蔵総合運動場温水プール



写真提供：米国大使館

パラリンピアンによる講演会

シドニーパラリンピック走幅跳銀メダリスト、ジョン・レジスターさんが、オリンピックやパラリンピックの素晴らしさと選手としての努力などについて、自身の体験をもとに子ども達に講演を行いました。また、休み時間には子ども達と校庭で一緒に遊び、給食を一緒に食べるなどの交流をしました。

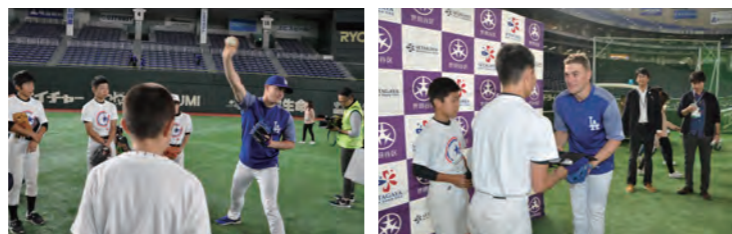
- 実施日 2018年9月14日(金曜日)
- 会場 明正小学校・砧中学校



MLB選手によるベースボールクリニック

アメリカ合衆国大使館協力のもと、日米野球で来日していたMLB選手4名によるベースボールクリニックを開催しました。リース・ホスキンス選手、ロナルド・アクーニャ選手、エンリケ・ヘルナンデス選手、ホイット・メリフィールド選手が、中学生にバッティングや守備の指導を行いました。クリニック後の質問コーナーでは、選手達は自分の経験などを交え答えていました。

- 実施日 2018年11月10日(土曜日)
- 会場 東京ドーム(文京区)



スポーツクリニック

区内中学校3か所を会場に、アメリカ合衆国競技団体のコーチ達によるスポーツクリニックを実施しました。バレーボール、サッカー、ソフトボール、陸上競技の4競技を中学校の部活動の生徒達が参加し指導を受けました。競技団体のコーチ達は元トップアスリートで、中にはオリンピックの金メダリストのスタッフもいて、子ども達はクリニック後の記念写真やサインをもらうなど交流をしました。

- 実施日 2018年11月17日(土曜日)
- 会場 桜丘中学校・東深沢中学校・用賀中学校



小児医療施設訪問

フィギュアスケート世界選手権優勝のネイサン・チェン選手とジェイソン・ブラウン選手が成育医療研究センターを訪問し、入院・入所している子ども達を励ます活動を行いました。ネイサン・チェン選手は現役の選手であると同時に、アメリカ合衆国の大学の医学部に所属しています。医療への志を持ち、日本で開催された世界選手権終了後に子ども達に会いに来てくれました。

- 実施日 2019年3月25日(月曜日)
- 会場 成育医療研究センター・もみじの家



フィギュアスケーターとの交流会

成育医療研究センターを訪問したジェイソン・ブラウン選手が、教育センター多文化体験コーナー「Touch the World」で松丘小学校の子ども達と交流を行いました。子ども達とクイズやミニトークで会話を楽しんだり、一緒にダンスをして交流を行いました。

- 実施日 2019年3月25日(月曜日)
- 会場 教育センター多文化体験コーナー「Touch the World」



メラニア・トランプ大統領夫人(当時)との交流

アメリカ合衆国大使館協力のもと、国賓として来日していたメラニア・トランプ大統領夫人(当時)と子ども達が、ミュージアム内の「お絵かき水族館」で、一緒に絵を描いたり、描いた絵が壁に映し出される様子を楽しみました。子ども達は英語を使って積極的にメラニア夫人に話しかけ、夫人は一人ひとりに優しく答えていました。

- 実施日 2019年5月26日(日曜日)
- 会場 森ビルデジタルアートミュージアム(江東区)



アンソニー・アービン選手による水泳教室

アメリカ合衆国大使館と世田谷区の主催事業として、シドニー2000オリンピックなど3大会で3つの金メダルを獲得したアンソニー・アービン選手と、ライフセービング世界大会銀メダリストの飯沼誠司さんによる水泳教室を開催しました。自らが困難を乗り越えた経験などを通じて、水泳に励む子ども達に向けてさまざまなメッセージを伝えてくれました。最後に行われたアービン選手も交えてのレースでは、迫力のある泳ぎに子ども達は目を奪われていました。

- 実施日 2019年8月19日(月曜日)
- 会場 大蔵総合運動場温水プール



元プロ野球選手 ラルフ・ブライアントさんによる講演会

アメリカ合衆国大使館と世田谷区の主催事業として、一般社団法人 日本プロ野球外国人OB選手会の協力のもと、メジャーリーグ出身の元プロ野球選手 ラルフ・ブライアントさんによる講演会、キャッチボールなど子ども達との交流を実施しました。子ども達はボールの握り方や投げ方などを教わり、さっそくブライアントさんとのキャッチボールで実践していました。

- 実施日 2019年8月22日(木曜日)
- 会場 東京都市大学付属小学校



大蔵総合運動場陸上競技場オープニングイベント

東京2020大会でのアメリカ合衆国選手団のキャンプ受入れを契機に、パラスポーツの推進と区民利用の環境改善として、バリアフリー機能を設けた陸上競技場スタンドの工事を行いました。2019年11月にリニューアルを記念し、オープニングイベントを開催し、400m室内世界記録を樹立したマイケル・ノーマン選手、パラリンピックで通算メダル17個を獲得した、車いす陸上競技のタチアナ・マクファデン選手を招き、小学4～6年生を対象としたトークショーを行いました。

- 実施日 2019年11月23日(土曜日)
- 会場 大蔵総合運動場陸上競技場



クリスマスゴスペルコンサート

アメリカ合衆国の文化を知るイベントとして、アメリカ合衆国発祥の音楽・ゴスペルのコンサートを開催しました。観客で会場が埋め尽くされ、クリスマスソングに合わせて手拍子をしたり一緒に歌うなど、アーティストと観客が一体となってゴスペルを楽しみました。

- 実施日 2018年12月10日(月曜日)、2019年12月9日(月曜日)
- 会場 キャロットタワー26階 オークラレストランカフェスペース



アメリカ合衆国選手とのレター交流

2019年から3年間で30名の選手と区内在住・在学の中学生在が2往復の文通のやり取りを行いました。参加した子ども達からは、パラスポーツの知識がなかったが、手紙をきっかけに興味をもつようになった、たくさん質問したことに対して選手が全部答えてくれたのがうれしくて選手のファンになったなどの感想が寄せられました。

- 実施日 2019年～2021年
- 参加者 計30名



●ハナミズキの苗木植樹●

次世代を担う子ども達に向けて、日米の友好のシンボルである桜とハナミズキの交流とその歴史について紹介しました。また、約100年前にアメリカ合衆国から渡ってきたハナミズキのDNAを引き継ぐ苗木を、子ども達の手で植樹しました。

- 実施日 2019年2月9日(土曜日)
- 会場 大蔵総合運動場



●ピンク・タイ・パーティー in SETAGAYA●

日本から桜が寄贈されたことを記念して、毎年春にアメリカ合衆国で開催される全米桜祭りは、ピンク・タイ・パーティーで幕を開けます。アメリカ合衆国と日本の文化交流を目的に、そのイベントを日本風にアレンジし、都内有数の桜の名所・砧公園で開催しました。アメリカ合衆国にちなんだゴスペルやジャズ演奏、ラッフル(チャリティーくじ)の他、日本文化としてお手玉演技など、盛りだくさんの内容でした。

- 実施日 2019年3月30日(土曜日)
- 会場 レストラン ル・ジャルダン(砧公園内)



●区内モスバーガー店舗でのホストタウン・共生社会ホストタウンPR●

国が進める「beyond2020プログラム」の参加企業(株)モスフードサービスと連携し、区内のモスバーガー8店舗にてホストタウン・共生社会ホストタウンのPRを行いました。

店内にホストタウンポスターを展示したほか、スタッフによるホストタウン缶バッジの着用、ホストタウングッズの配布、オリジナルデザインのトレーマットを用いた食事の提供を行いました。



装飾の様子



トレーマットデザイン

●共生社会促進助成事業●

障害のある方でも商店や事業所を使いやすくするため、商店街等における段差解消用簡易スロープや筆談ボードの設置、点字メニューの作成等に対し、共生社会促進助成事業を実施しました。

オリンピック・パラリンピック競技会場の「馬事公苑界わい」と保健福祉の街づくり重点ゾーン「梅ヶ丘駅周辺地区」からスタートし、区内全域に拡大しました。これまで様々な設備が商店等に設置され、障害のある方の日常生活に役立てられています。



簡易スロープ

●ユニバーサルデザインのまちづくり●

世田谷区は、「世田谷区ユニバーサルデザイン推進条例(2007年)」に基づく「世田谷区ユニバーサルデザイン推進計画(2009年)」を策定し、すべての区民の基本的な権利が尊重され、自らの意思で行動し、あらゆる分野の活動に参加することができる社会を築くために取り組んでいます。

東京2020大会では、馬事公苑界わいに世界各国から人々が訪れることから、馬事公苑周辺でのユニバーサルデザインのまちづくりに力を入れてきました。障害者の方も含めた住民参加で策定したサイン整備計画に基づくサイン整備や、馬事公苑外周道路の一部電線類地中化、公衆トイレの洋式化、視覚障害者誘導用ブロックの修繕や、歩車道境界部分の段差解消、誰もが座れるベンチの整備など、様々なハード整備に取り組んでいます。



住民参加ワークショップ(サイン整備計画づくり)の様子



案内サイン 誘導サイン



電線類地中化



視覚障害者誘導用ブロックや歩車道段差の改修



誰もが座れるベンチ

●心のバリアフリーシンポジウム●

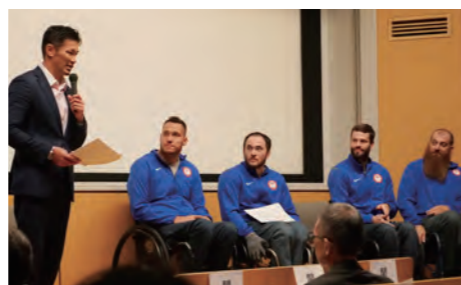
パラリンピアンとの交流による障害への理解を促進するため、車いすラグビーアメリカ合衆国代表選手4名を招き、商店街関係者や障害当事者の大学生等が参加した心のバリアフリーシンポジウムを開催しました。シンポジウムの前に、区内の商店街でパラリンピアンや障害当事者の方とともにまちを歩いて「まち歩き点検」を行い、日常のバリア(生活の上で障壁となるもの)について確認しました。シンポジウムでは、ラグビー元日本代表の廣瀬俊朗さんがコーディネーターを務め、まち歩き点検での気づきやアメリカ合衆国のバリアフリーの取り組みについて意見が交わされました。

●実施日 2019年10月21日(月曜日)

●会場 下高井戸商店街、日本大学文理学部



まち歩き点検(下高井戸商店街)



シンポジウム(日本大学文理学部)

●共生社会ホストタウンサミットin多摩川●

パラリンピアンや障害当事者等との交流をさらに深め、障害のある人もない人も共に生きる共生社会の実現を目指して、世田谷区と川崎市、内閣官房等が連携して、「共生社会ホストタウンサミットin多摩川」をオンラインで開催しました。

サミットには、国の先導的共生社会ホストタウンに認定された山口県宇部市、福岡県飯塚市、福島県福島市、川崎市、世田谷区が参加し、各市・区の実践について紹介や、市長や区長とオリンピック・パラリンピック担当大臣や日本パラリンピック委員会委員長によるパネルディスカッションが行われ、東京2020大会に向けた気運醸成と大会後のレガシー創出に向け、互いに連携・協力していくことを確認しました。

●実施日 2021年1月30日(土曜日)

●会場 ITSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ



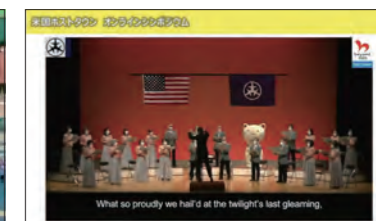
●アメリカ合衆国ホストタウン自治体の連携による取り組み●

オンラインを活用し、アメリカ合衆国のホストタウンに登録されている自治体が連携して様々な取り組みを行いました。2021年2月、全国のホストタウン登録自治体が参加する「ホストタウンサミット2021」が開催され、その中で17自治体による「アメリカ合衆国ホストタウン オンラインシンポジウム」が実施されました。シンポジウムで披露した自治体の紹介動画や、日本とアメリカ合衆国をつなぐリレー動画には区立小中学校8校の児童・生徒が、英語によるアメリカ合衆国国歌斉唱動画には世田谷区民合唱団が参加しました。また、学生による英語スピーチに桜丘中学校の生徒が参加し、ホストタウン交流の思い出やアメリカ合衆国選手団へのおもてなしの気持ちを伝えました。アメリカ合衆国のホストタウン自治体とアメリカ合衆国関係者とで制作したモザイクアートには、区立小・中学校のほか、私立小学校2校が参加しました。

東京2020大会にあわせてオンラインで開催されたホストタウンハウスには、各国選手団を応援する様々なコンテンツが掲載され、アメリカ合衆国のホストタウン自治体からの応援メッセージ動画には緑丘中学校が、英語によるSukiyaki Song(上を向いて歩こう)合唱動画には世田谷区職員が有志で参加しました。



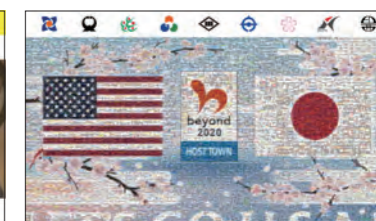
リレー動画



世田谷区民合唱団によるアメリカ合衆国国歌斉唱



桜丘中学校生徒のスピーチ



モザイクアート



緑丘中学校生徒の応援メッセージ



sukiyaki song 合唱

エールを送ろう

●オリンピック・パラリンピック応援メッセージ●

東京2020大会期間中、アメリカ合衆国のホストタウンに登録されている自治体が連携して、SNSで応援メッセージを発信しました。世田谷区では、区立小・中学校の児童・生徒によるアメリカ合衆国選手団への応援の気持ちを写真に収め、区公式Twitterで発信しました。また、選手団を応援する横断幕やビデオメッセージを制作し、横断幕は選手団へ贈呈、ビデオメッセージは世田谷区公式YouTubeチャンネル「せたがや動画」で配信するとともに、キャンプ会場で放映しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校連携観戦や選手との交流ができない状況下で、子ども達が東京2020大会に触れる貴重な機会となりました。

また、パラリンピック期間中は、応援メッセージのほか、ボッチャなどのパラスポーツやユニバーサルデザインの取組みについても発信しました。

●京西小学校



●八幡小学校



●上北沢小学校



●松沢中学校



横断幕を受け取ったアメリカ合衆国選手の様子

●東京2020応援ムービー制作体験●

東京2020大会に向けた更なる気運醸成と参加意識の向上のため、東京2020大会パートナー企業であるパナソニック(株)の協力のもと、オリンピック・パラリンピック応援メッセージ映像制作授業を区立小学校で行いました。

児童が監督、脚本、レポーター、役者、進行といった構成班やカメラ、音声、照明といった撮影班に分かれ、映像制作の過程を体験し、制作された映像を観賞しました。

その後、オリンピックやトップアスリートより、オリンピックでの自身の競技の経験や、選手村等での体験談を聞き、東京2020大会への興味が深まりました。

●実施日 2017年11月27日(月曜日)、28日(火曜日) ●実施校 弦巻小学校

●実施日 2018年6月15日(金曜日) ●実施校 八幡山小学校



授業の様子



映像制作体験の様子

おもてなし・交流・参加プロジェクト

「オール世田谷」というスローガンのもと、区民や企業、NPOなど各種団体と連携・協力しながら、大会の気運醸成とともに、区を訪れる様々な方へ世田谷区のおもてなしの心を伝える各種交流事業や、まちなか観光などに取組みました。資金支援を参加手段の一つとして、ふるさと納税による寄附金募集を2019年12月9日から2021年9月5日まで実施し、寄附者23名から815,000円の寄附をいただきました。

●馬術競技×ホストタウン コラボイベント スタンプラリー●

2019年7月20日から11月24日に区内の各所で開催された東京2020大会の1年前イベントを繋ぎ、ぐるっと回って楽しむスタンプラリーを開催しました。長谷川町子美術館のご協力により、5種類の色違いのスタンプを重ね押しすると、「馬に乗ったサザエさん」の図柄が完成し、子ども達を中心に多くの方がスタンプラリーに参加しました。



リーフレット

スタンプ完成図

●まねきねこワークショップと応援メッセージカード●

大会の気運醸成と子ども達にもものづくりの楽しさや魅力を伝えることを目的に、昭和女子大学及び(公社)世田谷工業振興協会の協力を得て、豪徳寺のまねきねこをモチーフに、アメリカ合衆国選手団を応援するメッセージカードを作成する子ども向けのワークショップを開催しました。

区内ものづくり事業者の方々から提供を受けた廃材を元に作成したスタンプを使ってカードを自由に装飾し、裏面にはアメリカ合衆国選手団に向けたメッセージを書きました。

合計1,000枚を超えるメッセージカードが出来上がり、キャンプ地に展示して、多くの選手に応援の気持ちを伝えました。写真は、トライアスロン混合リレー銀メダリストのモーガン・ピアソン選手です。



制作風景

出来上がり

ピアソン選手

●馬事公苑周辺5駅ワークショップと観光冊子「世田谷ぷらっと2020→2021」●

東京2020大会をきっかけにたくさんの方に世田谷区の魅力を紹介するため、馬事公苑周辺の5駅(経堂駅、千歳船橋駅、上町駅、桜新町駅、用賀駅)エリアの町会や商店街の方、地元の学生などが集まるワークショップを開催し、まちの方と一緒に観光冊子「世田谷ぷらっと2020→2021」を作りました。冊子では、まちの見どころや歴史など、さまざまな方々からよせられた馬事公苑周辺の魅力と、世田谷区で楽しめる「40の体験」を紹介しています。



経堂

千歳船橋

桜新町

用賀

上町

●世田谷区×アメリカ合衆国 ホストタウンフレーム切手●

世田谷区がアメリカ合衆国のホストタウンであることを記念して、「世田谷区×アメリカ合衆国 ホストタウンフレーム切手」を作成しました。

全5種類の切手とオリジナル台紙は、「世田谷区のホストタウンロゴマーク」や「日米交流の象徴であるポトマック川の桜並木」など、アメリカ合衆国との交流にちなんだデザインとなっています。区内郵便局で販売するほか、消印済みの切手をふるさと納税の記念品として贈呈しました。



●レガシー動画「1964年から未来へ…せたがやレガシー1964-2020」●

1964年に開催された東京オリンピックで、組織委員会の海外聖火空輸派遣団の一員に選ばれ、聖火を沖縄まで運ぶ大役を担うなどの活躍をされた区内在住の久野明子さんのインタビューです。1964年大会の経験や思い出、聖火への想いなどを次世代に引き継いでいくため、当時の写真なども交え、まとめています。DVDを区立小中学校等に配布したほか、世田谷区公式YouTubeチャンネル「せたがや動画」でも配信しました。



インタビュー



DVDパッケージ

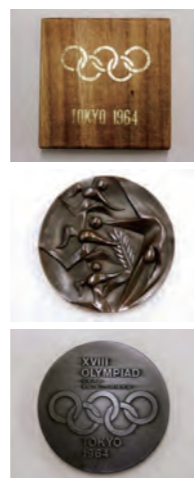
●「1964年東京オリンピックから未来へ受け継ぐレガシー」企画展(平和資料館)●

1964年開催の東京オリンピックの様子と平和への思いを伝える企画展を、2021年3～9月に平和資料館で開催しました。

当時の組織委員会の海外聖火空輸派遣団に通訳として随行した久野明子さんのご協力のもと、アジア各国をつないだ聖火リレーの様子をたどるとともに、大会中に渉外広報担当として活躍された際のエピソード、貴重な各国のピンバッジなどを紹介しました。



久野さんが海外の参加者からもらったオリンピックピンバッジ



オリンピック参加記念メダル



チラシ

●世田谷区ボランティア「せたボラ」●

東京2020大会期間中に、まちの賑わいや人々の交流の創出につなげていくため、馬術競技が馬事公苑で行われる期間に、区を訪れる方へ馬事公苑最寄りの5駅等で、世田谷の魅力の発信やまちなか観光・交通案内などを行う世田谷区ボランティア「せたボラ」の活動を予定していました。

2019年に募集し、ボランティア基礎研修や区のイベントでのボランティア体験など、本番に向けて準備を進めていましたが、馬術競技等が無観客開催となったことから、活動を中止しました。

大会終了後に「東京2020大会後のレガシーとしての地域活動」に関するシンポジウムを実施して、「せたボラ」の皆さんには、世田谷ボランティア協会が地域活動における人材のマッチングを目的に運営する「おたがいさまbank」へ登録していただき、社会貢献や地域活動での活躍につなげています。

●登録者数 525人

●活動場所・活動内容(当初予定していた内容)

| 活動場所 | 主な活動内容 |
|--|--|
| A 馬事公苑最寄りの駅周辺: 5 駅 千歳船橋、経堂、用賀、桜新町、上町 | ①活動周辺スポットの案内、チラシの配布 |
| B 区内主要駅: 6 駅 三軒茶屋、下北沢、二子玉川、成城学園前、下高井戸、千歳烏山 | ②区イベント案内、チラシの配布 ③交通案内 ④競技会場までの案内 |

活動駅周辺の飲食店の案内、チラシ配布



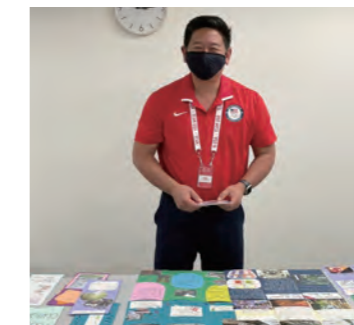
研修風景



ボランティアグッズ

●英語パンフレット「世田谷の歩き方」(区立中学校生徒作成)●

船橋希望中学校の2年生が、アメリカ合衆国の選手に向けて、区内のローカルな情報を紹介するパンフレットを英語で作成しました。パンフレットは、キャンプのため大蔵総合運動場を訪れていたアメリカ合衆国選手団に贈られました。選手団からは、東京2020大会について開催を反対する声もあり不安な気持ちの中、心温まるプレゼントを貰ったことへの感謝と、再び日本を訪れパンフレットを使って観光したいというお礼のメッセージをいただきました。



USOPC バイスプレジデントのディーン・ナカムラさん



生徒が作成したパンフレット

●世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会●

東京2020大会に向けて、区・事業者・区民が一丸となって「オール世田谷」で訪れる方々をお迎えするため、2019年10月10日に実行委員会を発足し、同日キックオフ会を開催しました。産業、区民まつり、町会・自治会、文化、スポーツ、行政にかかわる11団体が実行委員会を構成し、賛同する125団体・個人とともに世田谷のおもてなしに取り組みました。(139ページ資料編「設立趣意書」参照)

また、実行委員会のマスコットキャラクター・私設応援団「SOKS5」(委員会の頭文字から命名)は実行委員会の様々な事業に登場し、取り組みを盛り上げました。



キックオフ会



SOKS5

●実行委員会企画事業●

実行委員会では「みなで心をひとつに」、「共に楽しむ」、「本物に接する」を理念に、当初大きく3つの企画を予定していました。

その一つ、「世田谷スーパーパレード2020」は、1964年東京大会から現在までを音楽やパフォーマンスで表しながら、20組の団体が茶沢通りを三軒茶屋から下北沢まで双方向に行進する参加型の世田谷オリジナルのパレードでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により人との接触が制限されたため、YouTube配信の「世田谷スーパーエール」として実施しました。

世田谷の灯リレーは、感染拡大防止のため沿道での観覧は呼びかけることができず、また2度の延期を経ながらも、「めぐれ!世田谷の灯プロジェクト~世田谷ピースランタン~」として実施しました。

一方で、大会期間中区内各所のコミュニティライブサイト会場で、区を訪れる方、区民が交流し、参加できる様々なおもてなしイベントを行う予定でしたが、それらはいずれも実現しませんでした。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で、基本理念に「まちに活力を取り戻す」を加えながら、おもてなしや応援の気持ちをどのような事業として実施するか、模索しながら取り組みを進めました。

●おもてなしプロモーション●

Facebook、Instagram、TwitterやYouTubeチャンネルなどのオンラインでの発信と合わせて、ラジオ放送、ニュースレター「SOKS通信」発行など、多様な広報媒体で区内のおもてなしに関する情報をPRしました。

エフエム世田谷の番組『世界へ届け!世田谷おもてなしプロジェクト』(毎週30分間放送)では、地域団体や飲食店の方などをお招きして、おもてなしのリアルな現場をうかがいました。また、毎回一つの国にスポットを当て、その国の名物や慣習・歴史とともに、現地の言葉で「こんにちは」の挨拶を紹介し、多文化への理解を深める企画も行いました。



エフエム番組ちらし

●世田谷スーパーエール●

アメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンの取り組みを進め、アメリカ合衆国選手や区民にエールを届けることを目的に、コロナ禍でも工夫を凝らして活動を続ける区内団体のパフォーマンスをYouTubeで配信しました。

2020年12月に「世田谷スーパーエール2020-2021 @LAST 世田谷区民会館」と題し、6団体のパフォーマンスを公開。区民会館改修前の最後の公演となりました。

2021年7月からは「世田谷スーパーエール2021」として10団体のパフォーマンスを配信しました。あわせて「誰かに送りたいあなたのエール」を募集し、届いた1,200件以上のメッセージを1枚ずつカードにして並べ、世田谷区ホストタウンロゴマークのモザイクアートを作りました。

動画のダイジェスト版はアメリカ合衆国選手団のキャンプ地・大蔵総合運動場施設内でも上映しました。モザイクアートも同じく展示し、様々な形でエールを届けました。



●めぐれ!世田谷の灯プロジェクト~世田谷ピースランタン~●

オリンピックが「平和の祭典」であることから、東京2020大会に向け区が一体となる具体的な取り組みとして、平和と復興の願いを込めた「世田谷の灯」をランタンに灯し、子ども達を中心とした区民がつなぎ手となり行進しました。2020年は区の平和都市宣言35周年、世田谷区「平和の灯」設置30周年という節目の年でした。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による2度の延期を乗り越え、ようやく2021年10月・11月に実施し、3地域で合計234人が行進して、平和への想いを共有しました。

●実施日(会場) 2021年10月24日(玉川地域)、11月7日(世田谷地域)、14日(烏山地域)

※10月17日(砧地域)は雨天、31日(北沢地域)は衆議院議員選挙投票日に伴い中止



出発前のかけ声



ランタンを手に行進

●世田谷・綿花プロジェクト～彩ろう!ワタたちの世田谷～●

人との接触が制限される中、和綿の種を配布し、参加者自身が育てた生育状況をSNSで共有して、皆で世田谷に元気を取り戻すことを目的に実施しました。障害のありなしや年齢、性別に関わらず自宅で参加できるため、共生社会について考えるきっかけにもなりました。収穫したワタを雪に見立て、アメリカ合衆国選手へのメッセージとともに、クリスマスツリーを飾りました。



クロッシング世田谷で展示

●折り鶴プロジェクト～認知症当事者のための社会参加型プログラム事業～●

認知症の方の社会参加型プログラムとして、オリンピック関係者等へのおもてなしとアメリカ合衆国選手を応援するため、世田谷区内の認知症の方と支援する方(事業所職員、家族、ボランティア、地域の方等)約700人が作成した折り鶴で、アメリカ合衆国国旗と世田谷区紋章のモザイクアートを制作しました。

「何か地域の役に立ちたい」、「少しでも世田谷区を訪れる人々をおもてなしすることができたら」という思いが込められた1つ1つの折り鶴が、大きなアートとなってホストタウンとしての思いを発信しました。



折り鶴で作ったモザイクアート

